

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	履修単位数	2単位	履修学年	2年次
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『高等学校 家庭基礎 とともに生きる・持続可能な未来をつくる』（第一学習社）						
副教材等	なし						
授業担当者	横山 朗子						

1 学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 指導のねらい

- ・自分の生き方を考えさせ、子どもや高齢者などの異なる世代とかがわり共に生きる力を育成する。
- ・持続可能な社会の構築を目指して健康や環境に配慮しながら自立して生活する能力を育成する。
- ・男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育成する。

3 指導計画（70時間）（50分授業）

▼前期〔34時間〕

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) これからの生き方と家族 | (2) 装う |
| (3) 次世代をはぐくむ | (4) 充実した生涯へ |
| (5) とともに生きる | (6) ホームプロジェクト |

▼後期〔36時間〕

- | | |
|---------------|-----------------|
| (1) 食べる | (2) 住まう |
| (3) 経済生活を営む | (4) 生活をデザインしよう) |
| (5) ホームプロジェクト | |

4 課題・提出物等

- (1) 授業時のワークシートの提出。
- (2) 被服製作の作品、実習レポートの提出。

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	授業担当者名	横山 朗子
-----	----	-----	------	--------	-------

5 主な評価の方法

考査を中心とし、出欠状況や授業態度、課題への取組みと作品を評価対象とする。

6 評価の観点

関心 ・ 意欲 ・ 態度	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。
思考 ・ 判断 ・ 表現	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し創造する能力を身につけている。
技能	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。
知識 ・ 理解	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。